

♪ 中部教育事務所管内の社会教育情報を発信します ♪

「社教かわら版」も3年目となりました。今年度も、中部教育事務所管内で活動する社会教育団体等の様々な活動を紹介させていただきます。



取組みの紹介



高岡地区 連合婦人会

高岡地区連合婦人会定例総会・研修会が、5月1日(木)に栲原町で行われました。

午前中の総会では、研修会や夏季交流会の内容を更に充実したものにしていこうという積極的な意見が出されていました。

午後の研修は、元高知県教育長の大崎博澄氏の心温まる講話が行われました。

研修の中で、地域社会でできる
3つのヒントがありました。

- ① 温かい繋がりのある
コミュニティーづくり。
- ② 目の前に困っている人
がいたら手を差し伸べる。
- ③ 小さな心のきずなを育
てる。



美味しい
手作り豚汁！



元高知県教育長 大崎博澄氏の講話 テーマは 「生きる力を育む子育て」

大崎氏の考える子どもの「生きる力」には、3つの視点がありました。

まず、1つ目は炊事・洗濯・おつかい・お手伝いなど当たり前の日常生活である生活の知恵を育むことです。

次は、人と関わる力、人との関わりを楽しむこと、そして心ゆくまで存分に遊ばせることが大切なのだそうです。

最後に必要なのは、自己肯定感です。これは、特效薬などなく、長い時間をかけて貯めていくものであり、生きていく根幹になるということです。

大崎氏の話聞いていて、家庭・地域・学校の3つの場が、それぞれの役割を果たし、互いに補い合うことが、子どもたちのためにできる我々の役目なのだろうと感じました。

昼食には、栲原町の婦人会の方たちが参加者に美味しい豚汁を振る舞ってくださいました。『お汁でおもてなし』は、婦人会の恒例のようです。このような婦人会のおもてなしも、大崎氏の話のように、人との繋がりや生きる力を育むことに相通じるように感じました。

中央地区文化財 保護連絡協議会 (本山町)

6月6日(金)に文化財保護担当者の方々が集まり、平成26年度の
総会・第1回研修会が開催されました。
(高知市・南国市・大豊町・本山町・土佐町・大川村・いの町・仁淀川町)

美しい自然、史跡に 巡り合える町

研修Ⅰ(現地研修)

町の真ん中を流れる吉野川、数多くの遺跡が発掘されるなど、この町で昔から人々が豊かに暮らしてきた証拠がしっかりと残されていました。

また、汁見川を遡ると白髪山があります。そこには、珍しい「根下がりヒノキ」という学術保護林として貴重な森林もあるそうです。



雁山から眺める
本山町

研修Ⅱ(史跡めぐり)

帰全山公園にある野中兼山の銅像が参加者を出迎えてくれました。公園の中には、野中兼山の母である秋田夫人、その後方には兼山の長女である野中順の墓がありました。

帰全山は、通称「シャクナゲ公園」とも言われ、春になると、桜と同様にシャクナゲの香に包まれるそうです。

本山町は、昔、地域の文化・経済・政治の中心地といわれていたそうです。自然も楽しみながら、様々な史跡に巡り合える素敵な町でした。



野中兼山の銅像

越知町読書活動 研修会

子どもの読書活動を支える地域の力！

6月11日に越知町立越知小学校で、読書活動の推進に活かす研修を行いました。高知県教育委員会生涯学習課瀬沼チーフ、小中学校課益永指導主事が講師として招かれ、越知町の読み聞かせボランティア、保護者、教育関係者が参加されました。

越知の子どもたちのためにという参加者の皆さんの思い、熱心な姿が、地域の未来を築いていくのだと感じました。

さて、県内では、読書好きの児童生徒が多いという結果が出ています。しかし、残念なことに大人は読書ができていないというのが現状だそうです。読書は学力向上に効果的と言われています。大人も子どもたちに負けてはいられません！地域の図書館をどんどん活用し、我々も本の世界を広げていきましょう。

読書楽力検定にチャレンジ！

今年度、生涯学習課が、高知県教育委員会作成の『きつとあるキミの心にひびく本』を活用した読書楽力検定を実施します。紹介されている本は、どれも一度は読んでおきたい本ばかりです。検定は、正答率によって認定証も授与されますので、大人も子どもと一緒にチャレンジしてみると楽しいと思います。



今年から初めて社会教育に携わり、各団体や市町村の社会教育活動に関わっていく中で多くの皆さんが地域への愛情を抱いていらっしゃる、ひしひしと感じる日々です。十分ではないかと存じますが、できるだけ各団体の活動を発信できるように努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。(青木)

連絡先: 高知県教育委員会事務局中部教育事務所
TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167
E-mail 310305@ken.pref.kochi.lg.jp
担当: 安部・青木